1. 利便性の向上

	i								
利用促進策	主な関係者	R 5 年度			R 6 年度				R 7 年度
		10月~12月	1月~2月	3月 <u>【16日開業】</u>	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月以降
(1) 新駅の設置	ハピライン 福井市 県	〇福井・森田駅間(近町踏切付近)						
		R 5年度は県・市・ハピで検討会議を重ね、 新駅設置に向けた協議			R6年度から基本設計を実施				
	ハピライン 鯖江市 県	〇武生・鯖江駅間(サンドーム福井付近)						
		鯖江駅舎の空きスペースの利活用を検討							
	ハピライン 越前市 県	○王子保・武生駅間	(武生商工高校付近)						
		駅ホーム、駅前広場 詳細設計			駅ホーム、駅前広場等の工事				
(2) 観光・イベント列車の運行	ハピライン 県 小・中学校		R 5 年度は観光列車の導入検討 (先行導入事例の調査・研究等)			観光列車のコンセプト・企画の検討 観光列車の設計			
鉄道を利用した行事の企画	老人クラブ 婦人会 利用促進協議会 等	イベント列車の企画検討			付 イベント列車の企画・運行				ī
(3)イベント等の多客対応	ハピライン 沿線市町 県 主催者				2024年4月20 2024年5月25	1日 : ふくい桜マラ 0・21日:サンドーム福 5日 : サンドーム福	ラソン【臨時列車3本運 ロボコンサート(SEKAI ロボロンサート(ケツ が ロリ【臨時列車2本運行	NO OWARI)【臨時列 メイシ)【臨時列車42	
					○今後イベント時の多客対応 今後も多客対応が必要なイベント(コンサートや花火大会等)が開催される場合、 臨時列車を運行				
(4) 北陸トンネル等の電波 遮へい対策	ハピライン 県 総務省 移動体通信基盤	総務省へ電	電波遮へい対策の要望	基本契約	現地調査	詳細	設計・総務省へ予算要	₹求	遮へい対策 工事
	整備協会 (JMCIA)								1

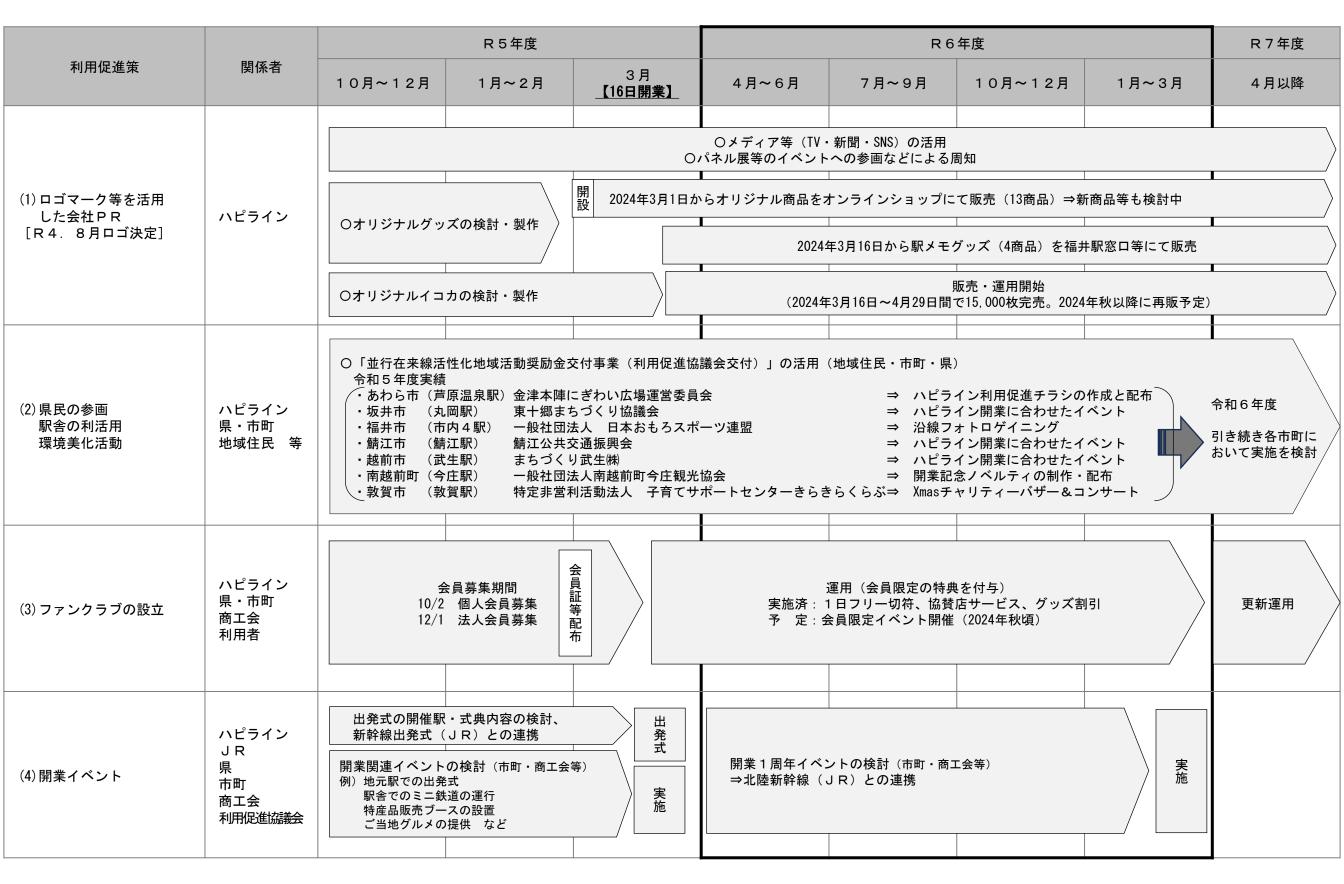
2. 駅を中心としたまちづくり

	関係者	R 5 年度				R 7 年度				
利用促進策		10月~12月	1月~2月	3月 <u>【16日開業】</u>	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月以降	
(1)既存駅の モデルチェンジ	ハピライン 市町 県	〇沿線市町と	○沿線市町と駅周辺での駐車場の整備、既存駅駐車場の利活用について継続的に協議○沿線市町と駅舎の空きスペースおよび駅周辺の利活用等について継続的に協議 「並行在来線 駅まち魅力づくり支援事業(県補助制度)」の活用(市町・ハピライン)							
(2)駅へのアクセス向上 P&R駐車場の整備	ハピライン 市町 民間	R 5 年度 R 6 年度	R5年度事業化 : 王子保〜武生駅間新駅整備事業(越前市) R6年度以降(検討中): 春江駅(坂井市)、越前花堂駅(福井市)、森田駅(福井市) 〇森田駅・丸岡駅について、駐車場舗装等の整備を2024年4月に完了							
(3)駅・駅周辺の 賑わいづくり (イベント開催等)	市町商工会等	〇鉄道利用を 様々なイベ	促す駅周辺で ントの開催検討				イベント開催			

3. 交通事業者との連携

	関係者	R 5年度			R 6年度				R 7年度
利用促進策		10月~12月	1月~2月	3月 <u>【16日開業】</u>	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月以降
(1)交通事業者との連携	鉄道会社 バス会社 県・市 等	発行や資材の共同 OMaaS[tabiwa、ふ	・福鉄・ハピ)の共通企同 同購入、技術研修会実 くいMaaS]への参画・ 風・IR・ハピ)が連携し 対	画切符 施など検討 連携の検討 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ピライン 1開スの11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年	7符(通年)、入場券セヤ (2024年3月16日~4月7日 -の実施(2024年3月16日 開業記念イベント2024年3 やま・IRいしかわ・ (2024年2月16日~2025年 デルコースの発信(202 たPR(2024年3月18日~ 024年10月12日~10月14日 -の共同実施(2024年10月 福井鉄道㈱、えちぜ	1) の発売 〜12月31日) 3月23・24日、鉄道ふくし ハピライン) が連携し 3月31日) 24年3月16日〜2025年3月 3月31日、以降も各社車 日) 月〜2025年2月)	ハフェスタ2024) た利用促進策の実施 31日) 両で実施)	推進

4. 地域に親しまれる鉄道への転換(マイレール意識の醸成)



福井県鉄道協会の設立について

1 設立日 令和 6 年 6 月 5 日 (設立総会)

※県域での鉄道事業者の協会等の設立は、全国初

2 設立目的

本会は、福井県内の鉄道事業者が連携することにより、本県の鉄道ネットワークを維持、高度化するとともに、会員各社の経営基盤の強化を図り持続可能性を高めることにより、地域鉄道が将来にわたり本県の発展に寄与することを目的とする。

3 事業内容

- (1) 本県の鉄道ネットワークの維持、高度化策の立案に関すること
- (2) 旅客の利便性向上、利用促進等による利用者の拡大に関すること
- (3) 資機材の共同調達や共同利用等による維持管理の効率化に関すること
- (4) 採用強化や定着の推進等による人材の確保に関すること
- (5) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

4 役員等

<役員>会員の中から互選し、任期は2年(重任可)。

会 長:ハピラインふくい代表取締役社長

副会長:えちぜん鉄道代表取締役社長

監事:福井鉄道代表取締役社長

<委員会>役員又は会員各社の専門担当者の中から会長が委嘱。

委 員:ハピラインふくい 総務企画部長

えちぜん鉄道 営業開発部長

福井鉄道 常務取締役

<事務局>ハピラインふくい(事務局長:ハピラインふくい総務企画部長)

5 令和6年度 事業計画(案)

- (1) 地域鉄道人材確保事業
 - ① 就職説明会開催事業(合同就職説明会の開催等)
 - ② 広報 P R 事業 (地域鉄道各社の P R 動画作成 等)
 - ③ 求人情報掲載事業(就職情報WEBサイトへの掲載等)
- (2) その他事業
 - ・ 地域鉄道事業連携連会議等への参画